

- 1 1918年に日本で初めて衆議院の第一党を基盤とした本格的な政党内閣を組織した人物は誰？
- 2 1922年の全国水平社結成時に中心的な役割を果たした人物は誰？
- 3 平塚らいてうの活動が象徴するような、女性の社会的地位の向上と権利の獲得を目指す運動を何という？
- 4 大正デモクラシーの時代、民衆の意思を政治に反映させようとする運動のよりどころとなった、明治時代に制定された根本法典は何？
- 5 第一次世界大戦後の軍縮を議論するために、1921年からアメリカで開かれた国際会議を何という？
- 6 大正時代、平塚らいてうが先導した、女性の社会的地位の向上と性差による差別からの解放を目指す運動を何という？
- 7 ヨーロッパ諸国が生産を停止したことで急増し、日本の産業を発展させた経済活動を何という？
- 8 ワシントン会議では、主力艦の保有量を制限する何が合意されたか？
- 9 第一次世界大戦後に朝鮮で発生した、日本からの独立を求める大規模な民族運動を何という？
- 10 第一次世界大戦後、国際平和維持のための国際連盟設立を提唱したアメリカの大統領は誰？
- 11 雑誌『青鞥』を創刊し、日本での女性解放運動の先駆けとなった人物は誰？
- 12 シベリア出兵で、日本に共同出兵を呼びかけた国はどこ？
- 13 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？
- 14 陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚を政党员で組織した内閣を何という？
- 15 「女性に太陽であった」という言葉を掲げ、大正時代の女性解放運動の中心となった人物は誰？
- 16 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？
- 17 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？
- 18 大正時代に広まった、個人の尊厳や民主主義を重んじる風潮を何という？
- 19 米騒動のあとに首相となり、平民宰相と呼ばれた政治家は誰？
- 20 大正時代、桂太郎内閣を総辞職に追い込み、憲法に基づく政治のあり方を求めたこの運動を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>原敬</u> は、衆議院で多数を占めた立憲政友会の総裁として首相に就任しました。		<u>原敬</u>	☐
2	<u>西光万吉</u> は、1922年に京都市で開かれた全国水平社の結成大会において指導的役割を果たしました。		<u>西光万吉</u>	☐
3	当初は文学的な自己主張から始まった運動でしたが、やがて平塚らいてうらは政治に関わる権利を求める運動へと発展させました。		<u>女性参政権運動</u>	☐
4	天皇を国家元首とし、統治権を天皇に帰属させる仕組みを定めていました。		<u>大日本帝国憲法</u>	☐
5	1921年から1922年にかけてワシントンで開催されました。		<u>ワシントン会議</u>	☐
6	平塚らいてうは、文学活動である『青鞥』から出発し、やがて具体的な社会改革を目指すようになります。		<u>女性解放運動</u>	☐
7	この好機を捉え、日本はアジアやアメリカ市場に向けて綿製品や雑貨、船などの <u>輸出</u> を急増させました。		<u>輸出</u>	☐
8	ワシントン会議では、主力艦の保有制限が合意され、日本・アメリカ・イギリスなどの軍艦保有量に一定の枠が設けられました。		<u>海軍の軍縮</u>	☐
9	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める人々が各地でデモを行いました。これが「 <u>三・一独立運動</u> 」です。		<u>三・一独立運動</u>	☐
10	アメリカ大統領の <u>ウィルソン</u> は、戦後のパリ講和会議で国際連盟の設立を強く提唱しました。		<u>ウィルソン</u>	☐
11	<u>平塚らいてう</u> は、1911年に女性だけの手による文芸雑誌『青鞥』を創刊しました。		<u>平塚らいてう</u>	☐
12	日本は当初、 <u>アメリカ</u> からの要請を受けて軍隊を派遣しました。		<u>アメリカ</u>	☐
13	1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。		<u>五・四運動</u>	☐
14	<u>政党内閣</u> は、議会政治を重んじ、衆議院で勢力を持つ政党の力を反映して運営されます。		<u>政党内閣</u>	☐
15	<u>平塚らいてう</u> は、女性の感性を活かした表現の場として1911年に雑誌『青鞥』を創刊しました。		<u>平塚らいてう</u>	☐
16	<u>吉野作造</u> は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうかの方が重要であると説きました。		<u>吉野作造</u>	☐
17	<u>桂太郎</u> は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。		<u>桂太郎</u>	☐
18	この風潮のもとで、普通選挙運動や労働運動、女性解放運動などが盛んに行われました。		<u>大正デモクラシー</u>	☐
19	立憲政友会の総裁であった <u>原敬</u> は、陸海軍と外務大臣を除き、すべて政党内閣で閣僚を固めた日本初の本格的な政党内閣を誕生させました。		<u>原敬</u>	☐
20	桂太郎が強引に内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲法擁護」を訴え、大規模な国民運動に発展しました。		<u>第一次護憲運動</u>	☐

言えなかった用語ノート